

東彼杵のひと

vol.14



木下 啓^{けい}さん

1952(昭和27)年生まれ
東彼杵町出身、在住
学校用務員補助
NPO法人おんぶにだっこ 代表



東彼杵町で子育て支援や学童保育などの事業を行う「NPO 法人おんぶにだっこ」の代表として、また平日は町内小中学校の学校用務員補助として、日々地域のために活動する木下啓さんにお話を伺いました。

前職はエンジニア

東彼杵町で生まれ、大学卒業後は神奈川県藤沢市の企業に就職し、プラント設計の技術者として活躍してきた木下さん。大手重工業メーカーの工場や東京都のゴミ焼却場など、大規模な機械や設備の設計を手掛けてきました。35歳で東彼杵町にUターンした後も、佐賀県鹿島市の会社へ通い、67歳まで技術者としての仕事を続けました。

地域活動のきっかけ

「子ども会の役割の一つとして始めた、東彼杵町青少年健全育成町民会議の活動が、地域に目を向けるきっかけでした。会議や研修などに参加し、先輩方の思いに触れるうち、やりがいや意義深さを感じるようになったんです。本業とは異なる分野でしたが、わが子たちが成人してもな

お、自分が続けたいと思う活動になっていました」。そうして30年以上、青少年健全育成のメンバーとして、また副会長として子どもたちのための活動に励んでこられました。

恩返しの気持ちで

『NPO法人おんぶにだっこ』の事業である子育て支援と学童保育の活動を手伝うようになり、2016(平成28)年からは同法人の代表になった木下さん。ちょうどその頃、子どもの貧困が叫ばれるようになった時期でした。

「他地域で子ども食堂を運営する方の話を聞き、東彼杵町でもいち早く子ども食堂を始めたいと思いました。自分が子ども時代、父のいない家庭で貧困を経験してきたんです。それでも地域の方たちが支えてくださって今の私があります。恩返しの気持ちで協力者を募り始めると、法人の仲間たちが何人も快く『私も手伝いたい』と名乗り出てくれて、それならばと法人として取り組むことになりました。町内外の方々からたくさん応援してもらい、温かい人たちに囲まれて活動ができることを、とてもありがたく思います。子どもから高齢者まで、みんなの居場所になるようにとの当初の願い通り、6年目の『みんなおいでよ』には幅広い年代の方が来てくださっています」



パソコンやビデオが趣味。家の本棚には地域のお祭りや行事などで撮影した、貴重な記録映像のテープが並びます。



小学校で樹木の管理をする木下さん。学校用務員補助として、子どもたちの安全を守る緑の下の力持ちです。



月1回の「みんなおいでよ」では、子どもも大人も一緒に笑顔の食卓を囲みます。

「大人の孤独」という問題

長年子どもたちと関わってきた木下さんが、近年力を入れているのが、高齢者の孤独・孤立の問題です。

「家族やご近所との付き合いがなく、交流の場にも参加できず引きこもってしまう高齢者が多いことを知りました。社会福祉協議会の呼びかけで、地元の民生委員さんたちを巻き込み、地元蔵本地区で高齢者の居場所づくり『集いの広場 さくら』を月2回開催しています。参加してもらうのは簡単ではありませんが、続けることで『1人じゃないよ』というメッセージを発信していければと思います。

子どもも大人も、今がどんな状況であっても自分らしく日々を過ごせるように。これからも、地域のために私にできることを考え、行動していけたら幸いです」



先日の「集いの広場 さくら」では、今年のふるさと芸能発表会の映像を鑑賞。話に花が咲きます。

- あなたの居場所 みんなおいでよ
開催日／毎月第3土曜日
時間／10:00～15:00(食事は13:30まで)
場所／総合会館 和室

- 集いの広場 さくら
開催日／毎月第2・4土曜日
時間／10:00～11:30
場所／蔵本構造改善センター

